

政策体系	政策No.	3	政策名	活力ある産業のまちづくり			施策主管課	商工振興課	
	施策No.	2	施策名	商工業の振興	重点施策	○	施策主管課長名	池田 洋一	
施策関係課名		観光課							
1 基本計画期間(平成20年度～平成24年度)における施策の方針									
商工業者の安定経営に資するための各種支援策を充実させ、生産・流通拡大に努めることで従事者の所得向上を目指す。									
2 施策の目的と成果把握									
① 対象 (この施策は、誰、何を対象としているのか)		商工業者・従事者							
② 対象指標 (対象の大きさを表す指標)		単位	区分	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度
A	商工業の事業所数	事業所	見込み値	未実施	4,150	4,150	4,100	4,100	4,050
				実績値		4,527	3,425	3,498	未確定
B	商工業の従業者数	人	見込み値	未実施	43,000	43,000	43,000	43,000	43,000
				実績値		49,019	26,134	28,100	未確定
※事業所・企業統計調査により把握 第三次産業から宿泊業と物産館などの大規模土産品販売業、医療福祉、教育学習支援業の部分を除外する。 ※平成21年度は経済センサス基礎調査結果表(5年に一度)により把握 事業所・企業統計調査は平成20年度で終了。									
③ 意図 (この施策によって対象をどう変えるのか)		経済的に豊かになる							
④ 成果指標 (意図の達成度を表す指標)		◎目標達成(105%以上) ○目標をほぼ達成(95%~105%未満) △目標を未達成(95%未満)							
		単位	区分	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度
A	生産額	百万円	成り行き値	380,000	380,000	380,000	380,000	380,000	380,000
			目標値	380,000	380,000	390,000	390,000	400,000	400,000
			実績値	257,222	254,910	229,647	234,620	未確定	未確定
			達成率	68%	67%	59%	60%		
			結果	△	△	△	△		
B	所得額	百万円	成り行き値	268,125	260,082	252,279	244,711	237,370	230,248
			目標値	280,000	280,000	280,000	280,000	280,000	280,000
			実績値	330,290	311,187	298,515	333,066	未確定	未確定
			達成率	118%	111%	107%	119%		
			結果	◎	◎	◎	◎		
C	豊かになったと感じる商工業者・従事者の割合	%	成り行き値	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0
			目標値	18.0	18.0	19.0	19.0	20.0	20.0
			実績値	9.9	17.1	19.7	21.4	20.3	17.5
			達成率	55%	95%	104%	113%	102%	88%
			結果	△	○	○	◎	○	△
D	霧島商工会議所の会員数	事業所	成り行き値	1,200	1,150	1,100	1,050	1,000	950
			目標値	1,300	1,300	1,300	1,300	1,300	1,300
			実績値	1,251	1,253	1,248	1,227	1,219	1,208
			達成率	96%	96%	96%	94%	94%	93%
			結果	○	○	○	△	△	△
E	霧島市商工会の会員数	事業所	成り行き値	1,400	1,350	1,300	1,250	1,200	1,150
			目標値	1,400	1,400	1,400	1,400	1,400	1,400
			実績値	1,403	1,392	1,359	1,334	1,323	1,296
			達成率	100%	99%	97%	95%	95%	93%
			結果	○	○	○	○	○	△
⑤ 成果指標の測定方法 (実際にどのように実績を把握するか)		⑥ 平成24年度の目標値設定の考え方							
<p>・A…生産額 ※「市町村所得推計報告」の産業別市内総生産より把握。第3次産業から政府サービス生産者と対家計民間非営利サービス生産者を除外。 ※対象指標と同じ考え方に揃える。</p> <p>・B…所得額 ※税のデータからは把握できないため、「市町村所得推計報告」の市民所得より把握。 ※「市町村所得推計報告」は約2年後に公表されている。</p> <p>・C…豊かになったと感じる商工業者・従事者の割合 ※総合計画進行管理に係る市民意識調査</p> <p>・D…霧島商工会議所の会員数 ※霧島商工会議所より聞き取り</p> <p>・E…霧島市商工会の会員数 ※霧島市商工会より聞き取り</p>		<p>A 「生産額」については、今後も積極的な企業誘致活動を行い、進出企業増加に伴う生産額向上を見込んだ。また、既存事業者の新製品・新事業開発への支援を行うほか、特産品のブランド化を積極的に推進し、供給増による生産拡大を図り、H16年度実績値と比較し182億7,400万円の生産額増加を目指す。</p> <p>B 「所得額」については、商工会議所、商工会を通じた経営改善指導等により商工業者の安定的な経営を継続させるとともに、市民に対し地元での商品購入を積極的に呼びかけ、商工業の活性化を図ることにより、H16年度実績値と比較し35億8,200万円の所得額増加を目指す。</p> <p>C 「豊かになったと感じる商工業者・従事者の割合」については、商工業者の安定的な経営維持のための各種経営支援を行い、生産額や所得額の増加を図り、H16年度実績値と比較し1.6%増の成果向上を目指す。</p> <p>D 「霧島商工会議所の会員数」については、景気の低迷や後継者不足等による会員数の減少も懸念されるが、会議所による会員獲得のための事業の実施や啓発活動等も行われるため、現状よりも約70事業所多い1,300事業所とした。</p> <p>E 「霧島市商工会会員数」については、景気の低迷や後継者不足等による会員数の減少も懸念されるが、商工会による会員獲得のための事業の実施や啓発活動等も行われるため、現状よりも約70事業所多い1,400事業所とした。</p>							

3 基本計画期間で解決すべき施策の課題(総合計画書より)

- ・商工会議所、商工会に対し、商工業者のアドバイザーとしての役割強化を働きかけるとともに、連携して商工業者への経営支援を行う必要がある。
- ・恵まれた自然環境や地域文化に根ざした多くの特産品について、ブランド化を推進する必要がある。

4 施策の特性・状況変化・住民意見等

① この施策の役割分担をどう考えるか(協働による市民と行政の役割分担)

ア)行政の役割 (市がやるべきこと、県がやるべきこと、国がやるべきこと)	イ)市民(住民、事業所、地域、団体等)の役割
<ul style="list-style-type: none"> ■国 <ul style="list-style-type: none"> ・法の整備により中心市街地の空洞化を阻止する。 ・商工業者に対する資金援助や費用補助を行う。 ・商工会議所や商工会、商店街に対する費用補助を行う。 ■市 <ul style="list-style-type: none"> ・商工会議所や商工会・商店街と連携し、商工業者への経営支援を行う。 ・立地企業への支援を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ■商工業者(自助) <ul style="list-style-type: none"> ・経営の自助努力を図る。 ・個性のある製品、商品を開発導入する。 ・生産、販売の拡充を図る。 ・まちの活性化に貢献する。 ■商工会議所や商店街(共助) <ul style="list-style-type: none"> ・商工業者に対する経営改善指導を行う。 ・まち全体の買い物客の誘引を図る。 ・一店逸品運動の推進を図る。 ・まちの活性化を地域と共に推し進める。 ■住民(地域) <ul style="list-style-type: none"> ・地元の製品や商品を積極的に購入する。

② 施策を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどのように変化しているか、更に今後どう変化するか?

- ・停滞する市街地の再生を目指す「(改正)中心市街地活性化法」が平成18年8月に施行された。さらに、同時期に、延べ床面積1万㎡を超える大型店の郊外立地を規制する「改正都市計画法」も段階的に施行された。
- ・これによって今後、市が商業地と認可しなければ大型店の進出は難しくなる。
- ・一方で中心市街地の商店はいずれも後継者難などによって閉店、廃業が増えていくことが予想される。
- ・平成21年8月1日には地域商店街活性化法が施行された。
- ・セーフティネット保証の枠が拡大された。(平成23年9月まで)
- ・市内の製造業は廉価製品の製造は海外、先端製品の製造は国内と言う流れが出来ているが、立地条件が恵まれた地域では企業誘致がさらに進むと予測される。

③ この施策に対して市民(対象者、納税者、関係者等)、議会からどのような意見や要望が寄せられているか?

- ・市民意識調査では「大型ショッピングセンターやモール、映画館が欲しい」「パチンコ店が多いので制約してほしい」「アーケード街を整備して旧寿屋跡地を有効に活用すべきである」「場外馬券売り場を設置してほしい」などがある。
- ・集客力のある店(大型商業施設等)の誘致、周辺部の地域にもお店や会社を誘致してほしい。
- ・議会からは、旧町役場の周辺の商店街を活性化してほしいとの要望が出ている。

5 施策の現状

① 平成24年度施策の取組方針	② 平成24年度施策の取組方針の達成状況
商工会議所、商工会に対し、それぞれの商工団体が行う商工業者への支援策等に対する間接補助を行うとともに、既存事業である、商工業資金利子補給補助事業の補助率の2%の拡充の継続により、経営の安定のための支援も行っていく。また、商工業者のアドバイザーとしての役割強化を働きかけ、商工業者に対して経営支援の充実を図る。	・商工業資金利子補給補助金の補助率を2%の拡充を継続しながら市内商工業者の経営の安定を図るとともに、商工会議所・商工会との協議を都度都度行い、商工団体としてのあるべき機能の強化と、現状に即した行政の支援について協議を行い、商工業者の経営の安定化を図ってきた。その成果により、商工会議所・商工会とも新規の加入者も見られたが、それ以上に後継者不足や社会経済状況の悪化による脱会者が増え、結果的には前年度実績を下回ることとなった。

③ 平成24年度施策の目標値と実績値の比較

- 目標達成 ◎ 105%以上
- 目標をほぼ達成 ○ 95%~105%未満
- 目標を未達成 △ 95%未満

	平成24年度成果指標			結果
	目標値	実績値	達成率	
A	400,000	未確定		
B	280,000	未確定		
C	20.0	17.5	87.5%	△
D	1300.0	1,208.0	92.9%	△
E	1400.0	1,296.0	92.6%	△

④ 平成24年度施策の成果指標の達成状況及び要因

- A.生産額,B.所得額(市町村民所得推計報告)については、平成24年度の数値が確定するのは平成26年度であり未確定である。
- C.豊かになったと感じる商工業者・従事者の割合は、実績値は平成23年度に比べ2.8ポイント減となり未達成となった。
- D霧島商工会議所の会員数・E霧島市商工会の会員数については、目標を約7ポイント達成できなかった。その要因としては、長引く景気の低迷や後継者不足による減であると思われる。

⑤基本事業の

目標達成度

(平成24年度目標と実績との比較)

○=すべての目標値を達成 △=一部の目標値を達成 ×=すべての目標値を未達成

① 商工業者に対する経営支援	○	④	
② 買い物のしやすい環境の確保	△	⑤	
③ ブランド化の推進	○	⑥	

6 平成25年度の施策の取組方針

(昨年度マネジメントシートより)

7 平成26年度に向けた施策の課題・方向性

--	--

基本事業No.	3-2-1	基本事業名	商工業者に対する経営支援	基本事業 主担当課	商工振興課
---------	-------	-------	--------------	--------------	-------

1 基本事業の目的、取組み方針

①基本計画期間における取組み方針（総合計画書より）	
<ul style="list-style-type: none"> ・商工業者の経営安定と体質強化を図るため、制度資金借入に対する利子の補給補助を行うほか、商工会議所・商工会に対し、中小企業経営相談や各種講習会開催に係る助成を行う。 ・海外貿易の振興に努めている「かごしま海外ビジネス支援センター」と連携しながら、商工業者へ情報提供を行う。 ・新製品、新事業開発を行う事業者に対する支援制度の創設を検討する。 	
②対象	商工業者・従事者
③意図	商工業者の経営が安定する

2 基本事業の指標等の推移 ◎目標達成(105%以上) ○目標をほぼ達成(95%~105%未満) △目標を未達成(95%未満)

①成果指標名		単位	②成果指標の測定方法	③数値区分	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度 (目標年度)
A	利益が出ている事業所数(法人市民税の課税者数)	事業所	市収納課調べ	成り行き値	2,900	2,900	2,950	2,950	3,000	3,000
				目標値	2,900	2,950	3,000	3,000	3,000	3,000
				実績値	3,009	3,025	3,119	3,153	3,260	3,305
				達成率	104%	103%	104%	105%	109%	110%
				結果	○	○	○	◎	◎	◎
B				成り行き値						
				目標値						
				実績値						
				達成率						
				結果						
C				成り行き値						
				目標値						
				実績値						
				達成率						
				結果						
D				成り行き値						
				目標値						
				実績値						
				達成率						
				結果						

3 基本計画期間における基本事業の目標設定の根拠

事業所数(法人市民税の課税者数)については、徐々に増えてはいるが、経済不況による景気の低迷等で今後はそれほど増加するとは考えにくいので、目標値を現状維持の3,000事業所とした。

4 平成24年度基本事業の取組方針 | **5 平成24年度基本事業の取組方針の達成状況**

商工会議所、商工会が行う経営相談や各種講習会等への支援を継続するとともに、既存事業である、商工業資金利子補給補助事業の補助率の2%の拡充の継続により、経営の安定のための支援も行っていく。また、海外貿易の振興に努めている「かごしま海外ビジネス支援センター」と連携しながら、商工業者へ情報提供を行う。	・市内商工業者の経営の安定を図るため、商工業資金利子補給補助金の補助率2%拡充の継続してきた。また、商工会議所・商工会が行う経営相談や各種講習会等への支援のため、それぞれの商工団体への補助を継続してきた。海外貿易の振興については、日本貿易振興機構(ジェトロ)鹿児島貿易センターや鹿児島県貿易協会との連携により海外貿易に対する情報を受け、商工業者へ提供しながら海外貿易の振興を図ってきた。
--	---

6 平成24年度基本事業の成果指標の達成状況

・事業所数(法人市民税の課税者数)が平成23年度に比べ45件増加した。その要因は経済不況に対応するために、国・県、商工会議所・商工会と一体となって各種制度の充実を図り経営支援を行ったことによる。

7 平成25年度基本事業の取組方針 | **8 平成26年度に向けた基本事業の課題・方向性**

--	--

基本事業No.	3-2-2	基本事業名	買い物のしやすい環境の確保	基本事業 主担当課	商工振興課
---------	-------	-------	---------------	--------------	-------

1 基本事業の目的、取組み方針

①基本計画期間における取組み方針（総合計画書より）	
<p>・街路灯の設置や修繕を行う商店街の通り会に対し、事業補助を行う。また、地元で買い物をする消費者が恩恵を受けられるような商店街独自の取り組みを支援する。</p> <p>・大規模小売店舗の新・増設計画等に対し、周辺地域の住民の利便及び商業その他の業務の利便の確保の見地から関係者の意見を聴取し適切な調整を行う。</p>	
②対象	商工業者・従事者・市民
③意図	<p>・商店街・通り会が賑わう。</p> <p>・環境が整い買い物がしやすくなる。</p>

2 基本事業の指標等の推移 ◎目標達成(105%以上) ○目標をほぼ達成(95%~105%未満) △目標を未達成(95%未満)

①成果指標名		単位	②成果指標の測定方法	③数値区分	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度 (目標年度)
A	空き店舗率	%	商工会議所・商工会調べ	成り行き値	15.6	15.6	15.6	15.6	15.6	15.6
				目標値	14.6	14.6	14.6	14.6	14.6	14.6
				実績値	16.0	18.6	18.2	16.7	16.8	17.3
				達成率	90%	73%	75%	86%	85%	82%
				結果	△	△	△	△	△	△
B	大規模小売店舗の売り場面積	㎡	大店法の届出の合算	成り行き値	105,000	140,000	140,000	140,000	140,000	140,000
				目標値	105,000	140,000	140,000	140,000	140,000	140,000
				実績値	107,646	134,219	133,660	133,660	132,494	135,490
				達成率	103%	96%	95%	95%	95%	97%
				結果	○	○	○	○	○	○
C				成り行き値						
				目標値						
				実績値						
				達成率						
				結果						
D				成り行き値						
				目標値						
				実績値						
				達成率						
				結果						

3 基本計画期間における基本事業の目標設定の根拠

空き店舗率については、今後もこれまでと同じ程度で進むと思われるので、成り行き値を過去3年の平均15.6%とした。目標値は、18年度が14.7%と単年ではあると思うが少し改善がみられたので、その数値を維持できればと考え成り行き値より0.1%減の14.6%とした。「大規模小売店舗の売り場面積」については、市内1,000㎡超の大型商業施設の総面積を成果指標とした。最近大型店の進出が多く増加してきている、19年度、20年度は進出予定の大型商業施設分を足し成り行き値、目標値とした。

4 平成24年度基本事業の取組方針 **5 平成24年度基本事業の取組方針の達成状況**

<p>・商工会議所、商工会と連携し、ふるさと祭や夏祭りを実施することにより、商工業社の活性化を図るとともに、地元商店街のにぎわいを創出する。また、商店街・通り会と連携して、既存事業である商店街活性化事業を活用した街路灯の補修を行うことや、TMOを活用し空き店舗の解消などにより、明るい商店街を創出し、買い物しやすい環境づくりに努める。</p>	<p>・商店街の活性化に取り組んでいる通り会に対し、補助制度の案内を行い、イベントや街路灯の補修、LED化の補助を行った。</p> <p>・TMOの活用により空き店舗への出店者に家賃補助を行った。</p> <p>・霧島ふるさと祭を開催し商工業者の活性化を行った。</p> <p>・霧島国分夏まつりを開催し商工業者の活性化を行った。</p>
---	---

6 平成24年度基本事業の成果指標の達成状況

・空き店舗率については、新規出店もあり利便性の高い場所にある空き店舗に対しては解消が図られる傾向もあったが、大規模店舗、コンビニ等の出店の影響や後継者不足による廃業等がそれを上回り、目標値をすたわったものと考えられる。

・大規模店舗の売り場面積については、平成22年度にジョイフルタウンの廃止により減となっていたが、平成24年度には跡地に大型商業施設が開店し増となっている。

7 平成25年度基本事業の取組方針 **8 平成26年度に向けた基本事業の課題・方向性**

--	--

基本事業No.	3-2-3	基本事業名	ブランド化の推進	基本事業 主担当課	商工振興課
---------	-------	-------	----------	--------------	-------

1 基本事業の目的、取組み方針

①基本計画期間における取組み方針（総合計画書より）

特産品協会や地元事業者とともに、物産展での特産品販売やPR等を行い、新しい「霧島ブランド」の開発・普及に努める。

②対 象	霧島の特産品(商工業)	③意 図	競争力を強化する。
------	-------------	------	-----------

2 基本事業の指標等の推移 ◎目標達成(105%以上) ○目標をほぼ達成(95%~105%未満) △目標を未達成(95%未満)

①成果指標名		単位	②成果指標の測定方法	③数値区分	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度 (目標年度)
A	新たに開発された特産品	個	新たに開発された特産品の数	成り行き値	0	0	0	0	0	0
				目標値	0	1	1	1	1	1
				実績値	1	0	1	2	1	1
				達成率			100%	200%	100%	100%
				結果			○	◎	○	○
B				成り行き値						
				目標値						
				実績値						
				達成率						
				結果						
C				成り行き値						
				目標値						
				実績値						
				達成率						
				結果						
D				成り行き値						
				目標値						
				実績値						
				達成率						
				結果						

3 基本計画期間における基本事業の目標設定の根拠

特産品協会等関係団体と連携し、新たな特産品を開発することによって、本市を全国にPRでき、商工業が活性化することから新しく開発された特産品の数を指標と設定した。
平成19年度は既存の霧島ブランドである「霧島茶」を1とカウントし、今後は年間に1個ずつ開発をしていく予定で、目標値を1個ずつ増加させている。

4 平成24年度基本事業の取組方針 **5 平成24年度基本事業の取組方針の達成状況**

<ul style="list-style-type: none"> 霧島市の特産品の競争力を強化するために、特産品に「霧島ブランド」という付加価値を付ける必要があるため、農政部門と検討しながら、霧島ブランドについて関係者と協議を進める。 霧島市の特産品をPRしていくために、特産品協会や地元事業者とともに、物産展での特産品販売を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 特産品協会と連携し、県内外で開催される物産展へ参加し、特産品のPRに努めた。 きりしま！新食のおみやげコンテストで地元食材を使い郷土料理にこだわった弁当「花の待つ駅 かれい川」が最優秀賞を受賞した。
--	--

6 平成24年度基本事業の成果指標の達成状況

A.新たに開発された特産品の数については、平成24年度は、商工業者が地域住民の要望に応え、地元食材を使い郷土料理にこだわった弁当「花の待つ駅 かれい川」が開発されたことにより目標を達成できた。

7 平成25年度基本事業の取組方針 **8 平成26年度に向けた基本事業の課題・方向性**

--	--